

全身の疾患別処方を考える⑥ 腎障害患者への投与-2

長野市 原山歯科医院 原山周一郎

今回は、前回の腎障害のある方への投与の続きです。高度の腎障害(Ccr<30)で、主に透析患者さんへの投薬について解説をします。

透析の一般的なスケジュールは、週3回、1回あたり4~5時間を要します。Ccrが10ml/min以下の腎不全の患者さんは、薬の減量が必要になり、抗菌剤は、一般的には、1/3~1/4に減量します。マクロライド系(クラリスなど)、ペニシリン系(サワシリンなど)抗菌剤は、比較的安全に使うことができます。歯科的な3日間ぐらいの短期的投与であれば、透析患者さんでは、残存腎機能に影響はほとんどありません。しかし、セフェム系(フロモック鎮痛剤の処方例

レシピ1	ロキソニン(60mg)	1回1錠	疼痛時服用	与3回
レシピ2	カロナール(300mg)	1回1錠	疼痛時服用	与3回
レシピ3	ツムラ立効散エキス顆粒	1回2.5g	食前または食間服用	与3回

抗菌剤の処方例

レシピ1	サワシリン(250mg)	1日1カプセル	分1 食後服用	与3日
レシピ2	クラリス(200mg)	1日2錠	分2 朝夕食後	与3日

クスなどの大量投与は、避けて、常用量の1/3に減量することか望ましいと報告されています。

透析患者さんの場合の抗菌剤の具体的な投与方法としては、初回は、通常量1回を投与し、透析終了後に1/2量を追加する方法もとられています。

次回は肝障害患者への投与です。

お詫びと訂正(編集部)：前号の「鎮痛剤の処方例」で「レシピ2」が2つになっていましたことお詫びします。薬剤名ソランタールの方を「レシピ3」と訂正してください。

主に処置

15...下顎4番、虫歯になった。詰め替えたいと思ったが、1件目の歯科医院で治療したが、まだ痛い(補綴してない)。その後別の歯科医院へ行った。現在Pの治療と他の部位の治療中。どうしたら良いか。左下臼歯部にブリッジが入って虫歯になっている。詰めて治すと言われているが、大丈夫か? やり変えたほうが良いのではないか。(女/50歳代)

16...2年前までかかっていた歯科医では麻酔をしなかった。今は廃業した。最近、公立病院の口腔外科に行った。麻酔して抜歯しなければいけないと言われた。1、抜歯すべきなのかどうか。2、抜歯や麻酔に不安がある。(女/年代不明)

17...検診に行くと10ヶ月くらい治療が終わらない。小さいむし歯3カ所を3回に分けて詰めたので、「1回で出来ないか」と聞いたら、「市役所に怒られるから」と歯科医に言われた。予約も週1回しか取ってくれない。自費の被せ物をよく勧められるようになった。(女/70歳代)

18...5年くらい通院している歯科があるが、1本10万円の歯を勧められる。歯肉を切って歯石を取る手術でその都度1万円、費用が高いし、治療がなかなか終わらない。途中で歯科医を変えても良いか? 良い歯科医を紹介してほしい。(女/50歳代)

15~18回答の要点 通院中の事例につ



「震災復興」のあり方を問う 県社保協総会で記念講演

長野県社会保障推進協議会の第19回総会と記念講演が2月1日、長野市で開催された。記念講演には東洋経済新報社記者の岡田広行氏を招き「東日本大震災から3年 改めて震災復興のあり方を問う」内容の「地域住民の困窮化と『復興災害』の実態」と題した講演が宮城県政にも触れる形であった。

東日本大震災から3年を経過しようとしている中で、2013年11月時点の避難者数は約27万人と、依然として多い。都道府県別で見ると、福島県を抑え宮城県の9万人が一番多いのが現状である。

震災直後の被災地の状況など、発生直後から現地で取材を続けてきた岡田氏だからこそ撮影できた写真で、震災直後の被災地、仮設住宅の生活、被災者を支えるボランティア活動など当時の状況も説明しながら紹介。また、震



県社保協総会で代表委員として閉会挨拶の鈴木保険医協会会長

記念講演の東洋経済新報社記者の岡田氏

災で何とか家は残ったが、万全な状態ではない在宅被災者が直面する新たな苦難として、復興事業の一環である道路等の建設計画立ち退き問題を取り上げた。例えば、事前に自分の土地が区画整理事業の対象かどうか町に再三確認し、やっとの思いで家をリフォームした後に立ち退きの対象となり、退去命令を命じられ困っている方。幸いにして被害がなかった自宅が盛り土造成工事の対象となり、立ち退きを強いられている方...。震災前からの借り入れに加え、二重ローン、三重ローンに苦しむ方も多いという。医療に関しては宮城県の支援の打ち切りで病院に通えない人が続出している中、宮城県

保険医協会主催で地元医師が診た健康相談会の模様も紹介された。

岡田氏は今後も取材を通じ、現在進められている国や県の復興のあり方について問題を記事にしていきたいと締めくくった。

歯のなんでも電話相談の事例の要点 ② 昨年の第5回実施分から

「保険でより良い歯科治療を長野連絡会」が昨年11月に実施した第5回の「歯のなんでも電話相談」(本紙383号参照)の相談事例(全21件)の相談内容と回答の要点の残り8件を紹介する。

以下で、太字の項目タイトル、番号で各相談内容(性別と年代)、項目毎に回答等の要点を記した。

全身疾患との関係
13...ピスフォスフォネートの注射を1日1回受けている。動く歯があるが、薬を止めなければ歯科治療を受けられないと聞いているが? (女/80歳代)

14...骨粗鬆症の治療を受けている。前歯がグラグラしている。先生からは前歯3本を抜くように言われているが、その看護師は抜かない方がいいという。行くなら遠いが病院の口腔外科に行った方がいいというがどうか? (女/70歳代)

13から14の回答の要点 骨粗鬆症の治療中の患者から歯科受診前の相談が2例あった。いずれもまず歯科の主治医に診てもらおうよう勧めた。抜歯が必要な場合は主治医と内科の主治医で連絡を取り合っ

ては担当医とよく相談することを勧め、不満があれば、他院でセカンドオピニオンを求めてほしいと説明した。16のケースでは鎮静法とい



昨年11月2日に4時間実施の歯の電話相談

う方法があり、通院先の病院ではそれを行っていることも伝えた。17の治療に長い期間かかるとの質問については、治療内容によっては回数期間が必要なことを説明、検査結果と治療計画を教えてもらうよう勧めた。自費の治療については進める理由もあるからよく聞いて判断されるよう話したが、「年金が歯科治療費に消えてしまう」ともらした方もあった。医院紹介を求められたケースは前号の補綴の回答の冒頭部分と同様に対応した。

矯正歯科

19...乳歯が抜けなかった。犬歯が頬側に出てきてしまった。その先生は大人の歯が全部生えて矯正をしたらと言

うが、それで大丈夫か? (9歳の子どもの母親)

20...6-7歳時に両顎2番から2番反対咬合だったが、矯正で治してもらった。Dr.によると、成長期だから、また反対咬合になるかもしれない、と言われたが、本当か? (11歳の子どもの母親)

21...10年前に歯科矯正をしたが、前歯のところが開いてきた。当時10万円くらい払ったが、どうしたらよいか。(子ども母親/40歳代)

19~21回答の要点 19は、成長にあわせて顎の拡大を図った方がスムーズにいく場合もあるので、他院で相談することも選択肢とした。20は、この部位の反対咬合は一旦改善されると、まず後戻りすることは考えにくいので心配しなくても良いのではないかと説明した。21は、治療を受けた医院で相談、また同じような金額になるようなら、他院で相談することも選択肢とした。